

加西市議会だより

No.184

熱中症を防ぐ
小学校夏季スクールバス運行始まる

市議会の新体制決まる (P2～3)

- 6月定例会
- ・ 議案審議レポート (P4～6)
 - ・ 議決結果 (P7)
 - ・ 一般質問 (P8～13)

8

令和7(2025)年

市議会の新体制決まる

議長に中右憲利 議員、副議長に高橋佐代子 議員 を選出

令和7年6月2日に開催された第313回定例会において、議長・副議長の選挙をはじめ、各常任委員会委員、審議会委員及び一部事務組合議会議員を選出し、新しい議会構成が決定しました。

この体制で令和9年5月21日の任期まで頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

議長・副議長就任あいさつ



議長 中右 憲利

このたび、栄えある第43代市議会議長を拝命いたしました。誠に身に余る光栄であり、心より感謝いたしますとともに、その重責に身の引き締まる思いでございます。

二元代表制の一翼を担う市議会といたしましても、市民の皆様の信頼と負託に応えるべく、緊張感を持って、さらなる市政の発展と市民福祉の向上、そして、公正かつ円滑な議会運営のため、誠心誠意職責を全うする所存でございます。市政においては、新病院・新中学校建設、総合運動公園整備など多くの大型事業が控えておりますが、加西市の将来を持続可能なものにしていかなければならないと考えております。これからも市民の目線に立ち、開かれた議会、議論する議会、提案する議会として努力していく所存でございます。

今後とも、市民の皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



副議長 高橋 佐代子

市民の皆様には、日頃より市議会の活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。このたび、議員各位から副議長にご推挙をいただき、大変光栄に

存じますとともに、議長の補佐役としての職責の重さを改めて痛感いたしております。

加西市においては、人口減少と少子高齢化が進む中で、先行きの不透明感を感じる市民の方も多くいらっしゃると思います。このようなときであるからこそ、執行機関と議会とは市政を停滞させることなく迅速かつ着実に、一定の緊張感を保ちながら是々非々の立場で進めていかなければならないと考えております。広く市民の皆様の声に謙虚に耳を傾け、共に歩めるよう、開かれた市議会を目指してまいります。

引き続き、皆様のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

会派の構成

会 派 名	人 数	代 表 者	会 員	
清 流 会 ・ か さ い を 育 む 会 ※統一会派	5	森 元 清 蔵	佐 伯 欣 子 下 江 一 将	森 田 博 美 橋 本 真 由 美
改革未来・自民の風・加西市民の会 ※統一会派	5	丸 岡 弘 満	田 井 真 一 高橋佐代子	西 脇 親 大 前 裕 也
令 和 新 風 加 西	3	北 川 克 則	中 右 憲 利	高 見 博 道
公 明 党	1	土 本 昌 幸		
加 西 市 民 ク ラ ブ	1	深 田 照 明		

※統一会派…複数の会派で構成する一つの会派。

委員会の構成（◎委員長 ○副委員長）



議会運営委員会

< 委 員 > 定数 6
◎丸岡弘満 ○高見博道
下江一将 高橋佐代子 土本昌幸
森元清蔵

<主な所管事項>
議会の会期や議案審議の方法などの議会運営、議会基本条例の検証を含む議会改革に関することなど



総務常任委員会

< 委 員 > 定数 7
◎西脇 親 ○橋本真由美
大前裕也 北川克則 高橋佐代子
高見博道 森田博美

<主な所管事項>
市の将来計画、市役所の組織、職員の人材育成、情報化、防災、市民参画、税金や市の財政、入札、観光振興、幼保・学校教育に関することなど



建設経済厚生常任委員会

< 委 員 > 定数 8
◎田井真一 ○佐伯欣子
下江一将 土本昌幸 中右憲利
深田照明 丸岡弘満 森元清蔵

<主な所管事項>
高齢者や障がい者等への福祉施策、商工業・農業の振興、道路や河川改修、住宅や上下水道の整備、環境、病院に関することなど

予算決算常任委員会

< 委 員 > 定数 15
◎丸岡弘満 ○高見博道 全ての議員で構成

<主な所管事項>
一般会計の当初予算、補正予算、決算に関すること

新病院建設特別委員会

< 委 員 > 定数 7
◎深田照明 ○田井真一
北川克則 佐伯欣子 土本昌幸 西脇 親
森元清蔵

<主な所管事項>
新市立加西病院建設に関することなど

審議会委員・一部事務組合議会議員

名 称	定 数	委 員
都 市 計 画 審 議 会	3	佐伯欣子 下江一将 田井真一
播磨内陸医務事業組合議会	2	西脇 親 深田照明
北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園議会	2	高見博道 橋本真由美
北 は り ま 消 防 組 合 議 会	2	大前裕也 丸岡弘満
小野加東加西環境施設事務組合議会	3	北川克則 高橋佐代子 森元清蔵

議案審議レポート

※ 議案は、本会議での質疑の後、所管の常任委員会に付託して慎重に審議しました。
主な議案と審議の経過について紹介します。

指定管理者 NPO 法人 加西市国際交流協会

議案第 38 号 指定管理者の指定について
(加西市グローバルセンター)

概要 加西市グローバルセンターの指定管理者を指定するもの。

指定管理者	特定非営利活動法人 加西市国際交流協会
指定期間	令和 7 年 10 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日
指定管理料	7,200 万円（指定期間 4 年 6 か月）
法人の事業	外国人のための生活相談、通訳・翻訳、出張語学講座、日本語教室、外国語コミュニケーションクラス、国際交流イベントの開催

質疑

問 国際交流協会に対して指定管理料に加え、補助金が支払われることについて。

答 今後、1 年間に指定管理料として 1,600 万円、補助金として 400 万円を支払う予定です。グローバルセンターの運営には、施設管理費 290 万円、人件費 2,000 万円余りを見込むことから、不足額については自主事業において賄う計画です。

また、指定管理料と補助金については、厳密に区分し管理するよう指導し、併せて監査も実施していきます。

問 グローバルセンター職員の採用方法と 65 歳以上の職員の採用の可能性について。

答 国際交流協会において選考を行い、最終的には理事会で決定することとなります。職員採用については、国際交流協会の服務規定にのっとり行います。

討論

賛成

・市内産業の活性化は市の活力を生み出すために大変重要である。市内の就労状況において、外国人労働者は重要な位置を占めており、加西市が外国人労働者からも選ばれるために、支援場所は必要。市民にとっても多様な言語を学ぶ機会が増え、国際化が進む。（本会議）

議決結果

全会一致で原案可決

庁舎附属棟（こども家庭センター） 建設工事 18 億 9,508 万円

議案第 41 号 庁舎附属棟（こども家庭センター）建設工事請負契約の締結について

概要 市役所庁舎北側に、「こども家庭センター」機能を備えた附属棟（鉄骨造 3 階建て、延床面積 3,654 m²）を建設するに当たり、請負契約を締結するもの。

契約の相手方	塩谷・高部特定建設工事共同企業体 共同企業体代表者 塩谷建設株式会社 代表取締役 塩谷宏平
完成予定日	令和 8 年 9 月 30 日

質疑

問 市外の共同企業体との契約となっているが、市内事業者による請負は難しいのか。

答 約 20 億円と高額な工事となるため共同企業体（代表者は A ランク）による施工とし、C ランクが最高の市内事業者と組むことを入札条件としました。

問 契約金額の減額理由は。

答 シンプルな建物の形状とし、内装も広く一般的に使用され、汎用性に富んだ材料としました。建設コストに注意しながら設計し、内部協議を重ねて建設費の抑制に努めた結果です。

討論

賛成

・予算額 24 億円に対して契約金額が約 19 億円となったことを評価する。市民サービスの充実と業務の効率化のため、しっかりと進めてもらいたい。（本会議）

反対

・市民や専門家などの意見を聞かずに進めようとしており、附属棟建設自体に反対である。（本会議）

議決結果

賛成 9、反対 5 の賛成多数で原案可決

(仮称) 加西中央統合中学校用地 の護岸矢板等工事 1 億 6,251 万 4,000 円

概要 3 中学校を統合して開校する新統合中学校用地のため池護岸矢板と敷地整備を施工するに当たり、請負契約を締結するもの。

契約の相手方	西岡建設株式会社 代表取締役 西岡和紀
完成予定日	令和 7 年 12 月 26 日

質 疑

問 護岸矢板工事の内容は。

答 運動場となるため池に、鉄製の護岸矢板（長さ 9 m～11.5 m）を総延長 108 m にわたり、8 m～9 m の深さに打ち込み、その上に笠コンフレームを載せて仕上げ、運動場部分を埋め戻します。

議案第 42 号 (仮称) 加西中央統合中学校護岸矢板及び敷地整備工事請負契約の締結について

討 論

賛成

・北条高校と播磨農業高校に隣接する中学校ができ、中高連携のできる加西市独自の教育体制が期待できる。令和 10 年開校に向け、しっかり準備を進めていただきたい。(本会議)

議決結果

全会一致で
原案可決



(仮称) 加西中央統合中学校の 用地を取得 3 億 1,068 万 8,590 円

概要 (仮称) 加西中央統合中学校整備事業に伴い、事業用地を取得するもの。

面 積	61,291㎡
地 目	雑種地、学校用地、山林、原野、ため池

質 疑

問 議案第 42 号 (仮称) 加西中央統合中学校護岸矢板及び敷地整備工事請負契約の締結との関連性は。

答 緊急回避措置として施工承諾を交わし、財産を取得する前に工事に着手することも可能ですが、財産取得後に名義変更を済ませてから工事を進めていく方針です。

問 野田池に調整池を整備する必要性について。

答 県の治水条例により、開発前と同じ流域に調整池を整備することが定められていることから、野田池に調整池を計画しました。

問 調整池の整備計画について。

答 野田池には、既に太陽光設備が設置されていることから、その除却には高額な補償が必要なこと。

議案第 43 号 財産の取得について

また、水利の受益地分の水を確保する必要があることから、ため池を一部残し、池の中央に堤防を建設して調整池を整備する計画となりました。既存のため池の全てを調整池として整備するには、堤体全てを整備し直す必要があり、調整池として必要な部分のみを買収し、安価に整備を進めます。

討 論

賛成

・事業用地のうち、調整池周辺地域の土地利用計画は、まだ予定段階であっても議会にはしっかりと説明すべきであり、説明不足と言わざるを得ない。今後、このような事業が増えてくるならば、執行者においては後手後手にならないよう議会には十分説明していただくよう要望し、賛成する。(本会議)

議決結果

賛成 13、反対 1 の賛成多数で原案可決



取得予定用地の一部

北条高校生の海外研修支援や 農業用機械・施設の導入支援、 中学校体育館空調整備など

議案第 44 号 令和 7 年度加西市一般会計補
正予算（第 1 号）について

質 疑

北条高校生海外研修支援

170 万円の増

問 海外研修の内容は。

答 グローバルな体験を通じて
生徒の視野を広げ、異文化
や現地の産業に理解を深めること
により、スキルの育成を図ります。



10 月 24 日から 30 日の 7 日間、17 名の生徒が参加する
予定です。世界で活躍する地元企業訪問、カリフォルニア
大学ロサンゼルス校現地大学生との交流、ホームステイ
体験があります。

農地利用効率化等支援交付金

186 万 5,000 円の増

問 交付金の内容と採択状況は。

答 地域計画の実現に向けて、経営改善に取り組む認
定農業者、集落営農組織などに対して、農業用機械・
施設の導入を支援する国の補助金です。5 件の応募があ
り、そのうち 3 件が採択され、いずれも大規模生産の法
人です。

問 助成対象者は。

答 地域計画のうち目標地
図に位置づけられた者
で、認定農業者、認定新規就



農者、集落営農組織、そして市の基本構想に示す目標
所得水準を達成している農業者となっています。認定農
業者は専業兼業の規定はありませんが、年間農業所得が
450 万円以上及び主たる農業者の年間労働時間が 1,800
時間という条件があります。

4 中学校体育館空調整備

2 億 2,200 万円の増

問 中学校統合まで 3 年となり、生徒が実際に使う期
間は短いが整備されるのか。

答 中学校の体育館は全て指定避難所に指定されてお
り、廃校になる学校でも、体育館の空調は必要で
あるとの考えから、整備します。

問 市内 4 中学校の体育館空調整備工事の完成予定は。

答 来年の 6 月頃には 4 中学校一斉に稼働したいと考
えており、プロポーザル選定業者と協議して進め
ます。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



市独自の物価高対策 水道基本料金を 6 か月間 (7 月～ 12 月) 免除

議案第 45 号 令和 7 年度加西市水道事業会計
補正予算（第 1 号）について

概 要

物価高対策として水道基本料金の免除を 6 か月
間(令和 7 年 7 月検針分から 12 月検針分まで) 実施する。
これによる給水収益の減収分 9,800 万円を、一般会計
から補填する。

質 疑

問 他自治体の取組状況を踏まえた認識と市民の声は。

答 現在、県下他市町での実施はなく、本市独自の取
組として生活費の軽減に寄与したいという思いで

す。「水道料金の減免は非常にありがたい。」「次はいつ
してくれるのか。待ち望んでいる。」などの声をいただ
いています。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



第 313 回 令和 7 年 6 月定例会 議決結果一覧

賛否の分かれた議案（採決順に掲載）

○…賛成 ×…反対

令和 7 年 6 月 2 日

議 案	大前裕也	北川克則	西脇親	高橋佐代子	下江一将	橋本真由美	深田照明	高見博道	土本昌幸	田井真一	佐伯欣子	森元清蔵	森田博美	丸岡弘満	中右憲利	議決結果
議員提出議案第 1 号 加西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	議長	○	原案可決 (賛 9、反 5)

令和 7 年 6 月 23 日

議 案	大前裕也	北川克則	西脇親	高橋佐代子	下江一将	橋本真由美	佐伯欣子	高見博道	丸岡弘満	田井真一	土本昌幸	森元清蔵	森田博美	中右憲利	深田照明	議決結果
議案第 41 号 庁舎附属棟（こども家庭センター） 建設工事請負契約の締結について	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	議長	○	原案可決 (賛 9、反 5)
議案第 43 号 財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	○	原案可決 (賛 13、反 1)
決議案第 1 号 高橋加西市長に猛省を求める決議 について	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	議長	×	原案否決 (賛 5、反 9)

全会一致で承認、同意、可決した議案

- 報 告 第 1 号 専決処分したものに付き承認を求めることについて（加西市税条例の一部改正）
- 議 案 第 35 号 固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて
- 議 案 第 36 号 監査委員の選任につき同意を求めることについて
- 議 案 第 37 号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議 案 第 38 号 指定管理者の指定について（加西市グローバルセンター）
- 議 案 第 39 号 和解及び損害賠償の額を定めることについて
- 議 案 第 40 号 学習者用コンピューター式の購入について
- 議 案 第 42 号 （仮称）加西中央統合中学校護岸矢板及び敷地整備工事請負契約の締結について
- 議 案 第 44 号 令和 7 年度加西市一般会計補正予算（第 1 号）について
- 議 案 第 45 号 令和 7 年度加西市水道事業会計補正予算（第 1 号）について
- 議 案 第 46 号 選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議 案 第 47 号 加西市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について
- 委員会提出議案第 4 号 加西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

6月10日～11日の本会議では、12名の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。(発言順に掲載)
※ QRコードを読み取ると、録画映像をご覧くださいことができます。



田井 真一 議員
(改革未来・自民の風)
・加西市民の会



市民が頼れる新病院に～どのような医療が提供できるのか～

がん治療

問 どのような「がん治療」ができるのか。

答 (病院事業管理者) 基幹病院で高次のがん治療を終えた後の回復期を中心に、「外来化学療法」や「緩和ケア」を含め、できる範囲での治療を担うこととしています。

心筋梗塞～緊急カテーテル治療

問 「緊急カテーテル治療」はできるのか。

答 (病院事業管理者) 以前のような緊急カテーテル治療はできませんが、定期カテーテルや

検査カテーテルに対応するカテーテル室は設置したいと考えます。

救急医療

問 24時間365日の「救急医療」は、今後も維持できるのか。
答 (病院事業管理者) 神戸大学からの応援医師の協力を得て、積極的に行っていきたいと考えます。

訪問診療

問 「通院困難者」への対応として、「訪問診療」を実施してほしい。訪問看護師がタブレットを持って患者宅へ行き、医師は病院にいて「オンライン診療」を行う方法はどうか。

答 (病院事業管理者) 訪問診療のニーズは間違いなく増えると思います。訪問医の確保が理想ですが、既存の医師で対応するためにも、オンライン診療ができるシステムが構築できれば、対応

は可能ではないかと思います。

「地域医療連携推進法人」の設立を～「競争」から「協調」へ～

問 新病院が生き残っていくためには、近隣病院との「大連携」が不可欠である。「地域医療連携推進法人」の設立を前向きに検討しては。

答 (市長) 機能分担や連携の必要性は認識しています。法人設立となるとどこがイニシアチブを取るかが課題となりますが、積極的に連携を進めていきたいと考えます。

■その他の質問項目

- ・法華口駅前の渋滞問題
～駅舎活用の課題と解決策～



西脇 親 議員
(改革未来・自民の風)
・加西市民の会



皆が楽しめる玉丘史跡公園に

問 草刈り、剪定枝の処理は、どうしているのか。

答 過去に樹木の根本に置くことも試みましたが、ネズミが発生する事態となりました。また、においがする、景観が損なわれるなどの苦情も寄せられたことから、以来、刈り草は撤去することとしています。剪定枝の運び出しは、時期を見ながら進めていきたいと考えます。

問 クワンス塚古墳のブルーシートで覆われた部分は。

答 景観上も好ましくありませんが、ブルーシートを取る

と、クワンス塚の水に触れる部分の土砂が崩れ落ちることもあるため、中長期的には、計画に沿って修理していきます。もう少し景観に配慮した、応急的な処置ができないか、検討したいと考えます。

問 玉丘史跡公園の今後の整備は。

答 小さなお子さんからお年寄りまで幅広い年齢層の方が、ゆったりと過ごせる公園です。市民の憩いの場としてはもちろん、玉丘古墳群の一体的な保全を図る役割も持っています。都市公園のように身近な場所にありながら、歴史遺産を間近に眺め、朝夕にはウォーキングでにぎわう公園でもあります。今後もこの環境を維持し、歴史遺産の活用も含めて、計画的に整備を進めていきたいと考えます。

問 玉丘古墳は、国指定文化財の貴重な資源。加西市にとっての重要度は。

答 古墳を含む公園の整備は平成28年に策定した計画に基づいて進めています。玉丘古墳は、来年度に発掘調査を実施する予定です。基本的には現在の古墳の姿を大きく変えることなく、樹木や散策路の整備、石棺のあった場所の埋め戻しを行う予定です。根日女伝説などの謎やロマンを秘め、加西市のアイデンティティーを形づくるレガシーとして、市内外へ発信に努めます。セミナーの開催や体験イベント等の様々なアクティビティの活用を進めていきたいと考えます。

■その他の質問項目

- ・熱中症対策について
- ・土地・農地の維持管理



深田 照明 議員
(加西市民クラブ)



加西市の商工業を守り地域を活性化させる取組

問 令和6年12月の加西商工会議所からの要望の主な事項は。

答 大きく2項目あり、一つ目は中小企業・小規模事業者対策への積極的な取組と円安・物価上昇の影響に対する事業所への支援、既存補助金の拡充などです。二つ目は産業・交通基盤の整備として県道6路線、国道372号線バイパス、市道修繕の推進です。

問 要望に対して具体的にどのように応えていくのか。

答 中小企業の経営安定化や地域活性化に向けて、長期的

かつ継続的に事業者の成長と発展を支援しています。令和7年度は主に、事業持続化のための販路開拓と業務効率化を支援する小規模事業者持続化支援補助金、中小企業等の経営効率化と生産性向上のためのデジタル活用事業を支援する新産業創出支援事業補助金の利用を進めています。

問 事業者からの相談について、商工会議所と市が日常的に協議や相談を行い、密接に連携しているのか。

答 商工会議所と市が連携して相談に当たるため、定期的に協議を行っています。相談内容は幅広く様々な対応が求められるため、相談ごとに情報共有し、協議の上、対応しています。

問 加西市ではどのような相談に対応しているのか。

答 産業課では市の産業振興奨励金制度に関する相談や、中小企業の設備投資に関して、固定資産税を軽減する先端設備導入制度に関する相談や問合せに対応しています。さらに企業立地に関する相談も関連部署と連携しながら対応しています。

意見 加西商工会議所と加西市がより連携を深め、全ての事業者を守る体制をより確実なものにすること。また、加西市が事業者を全力で守っていくという強い意思をもっとPRすることにより、加西市での起業や企業誘致が進むことを期待します。

■その他の質問項目

- ・プライバシーを守る避難所備蓄品と補充体制について
- ・ふるさと納税事業の現状と将来予測



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)



加西市の進む姿を問う

問 総合運動公園整備を決定するに至った経緯は。

答 平成18年1月に陸上競技場兼サッカー場の早期整備の要望書が提出されました。また、基本構想・基本計画策定に当たって実施した市民アンケートやスポーツ推進審議会を通じ、多様なスポーツを行う場の提供、幅広い世代が利用可能な施設の整備、最新の設備導入などを求める市民の声が多くあったためです。

問 総合運動公園整備に係る起債いわゆる借金の償還計画は。

答 総合運動公園の本格的な整備は令和8年度から始まり、令和9年度から起債の償還が始まります。総合体育館の建設は令和12年度からです。

問 資金の借入れによる償還が始まれば、市民の負担が増える。現在加西市は176億円の借金と、庁舎増築、統合小・中学校整備、新中学校建設、新病院、総合運動公園と大型事業が多いが、新たな借金の額と、市民一人当たりの借金の額は。

答 大型建設事業に際して新たに270億円を起債(借金)する予定としており、市民一人当たり(新たに)66万円となります。

問 財政収支見通しでは、令和6年度から歳入が歳出を下回って赤字となっている。しかし、行革改善額は増えており、これは市民サービスを減らして赤字補填

しているのではないかと。

答 歳出抑制を優先するあまり、市民サービスの低下を招くようなことがあってはならないと認識しています。

問 病院周辺の整備は未定だと聞いているが、その財源は。

答 新病院のアクセス道路として、県道からの進入部分や救急搬送車用の市道を整備します。費用は約3億円、9割は起債予定です。

要望 女性や子供、子育て世代、PTAの若い方々など多くの市民の声を聴いていただきたい。

■その他の質問事項

- ・本市における男女参画、女性活躍
- ・障がい児福祉
- ・若者や挑戦する人たちに選ばれる町を目指す



高見 博道 議員
(令和新風加西)



在田南部地区圃場整備事業について

問 殿原町、笹倉町、越水町、中富町、玉野町の一部の圃場整備である在田南部地区圃場整備事業が令和6年度に採択を受けて1年がたつ。現在の計画の進捗状況について説明願いたい。

答 在田南部地区圃場整備事業は、令和6年度に県営事業として採択を受け、令和14年度に事業完了予定となっています。令和6年度は地区界測量や設計に着手し、当初計画どおり圃場整備予定区域の南側より整備が進んでいます。

問 各町では営農組合の立ち上げや法人化など、大変なご苦勞をされている。町ごとの現在の状況を説明願いたい。

答 圃場整備予定区域の南部の地域である玉野、笹倉、中富から実施設計の図面を作成しています。令和8年度の工事着手に向けて地元と協議しており、中富工区では、残りの部分の地区界測量及び実施設計を行う予定となっています。農地集積により、地元負担金を大幅に減らすことができるため、各町とも営農組合の設立に向けて取り組んでいるところです。法人化にはまだ時間はかかりますが、地域での協議等にも参加し、各町と相談しながら進めているところです。

問 順調に進むと令和14年度に完成するが、今後の予定

を伺う。

答 地区全体の予定は、令和9年度に本工事と並行して越水工区、殿原工区の地区界測量、詳細設計を開始する予定となっています。地元との調整を図りながら早期の工事着手、完了を目指して、できるだけ全体が早く完了できるように、国、県に要望していくとともに、市としても支援していきたいと考えます。

要望 市内の圃場整備が一通り終わり、2回目を考えている町もあります。そのモデル地区になると考えますので、順調に進むよう行政としてしっかりフォローしていただきたいと思います。

■その他の質問項目

- ・ 泉統合小学校について
- ・ 加西インター産業団地について



北川 克則 議員
(令和新風加西)



県道下滝野市川線の整備は

問 現在進行している山田町工区は、通学路の関係で若干設計が変更になると聞いている。現状と今後の予定は。

答 事業主体である兵庫県としては、令和7年度は引き続き用地買収と物件補償を進め、さらには和泉東交差点付近から文化財調査を実施する予定とのことです。予算や用地等の諸条件が整い次第、令和8年度から工事を行う見込みですが、予算の確保に苦慮されている状況です。

兵庫県では、通学路整備に重点

を置いて歩道整備を進めており、小学校統廃合による通学路の変更や、通学バス乗り合い場所の選定に伴い、一部計画変更も視野に入れて、実情に合った歩道整備を進めていくこととなります。

問 山田町工区が整備された後は、馬渡谷口から鍛冶屋町までの区間が未整備で残ることになる。この上り坂はセンターラインのない道路で、先には三つのコーナーもあり、交通の難所になっている。同じく擦れ違いに苦勞している泉地区を含め、今後の整備の見通しは。

答 馬渡谷町区間、泉区間の歩道整備については、現在先行している山田町工区に一定のめどが立った後となると考えています。現在、馬渡谷町区間は、ひょうごインフラ整備プログラムにお

いて、事業候補箇所として記載されています。市内の他の路線の進捗を見ながら、整備箇所として早期着手となるよう要望していきます。泉区間は次の事業候補地となるよう進めたいと考えます。

要望 学校統廃合に向けて、通学バスが擦れ違いに苦勞する場所を整備していただきたい。



■その他の質問項目

- ・ スクールバス計画について
- ・ 公共交通について



土本 昌幸 議員
(公明党)

タウンミーティングについて



問 学校跡地利用は各小学校区では地域性が異なる面もありますが、その内容についてお聞かせください。

答 令和7年度末に閉校予定の三つの小学校は、民間ニーズを踏まえ、民間事業者等による利活用案を決定したいと考えています。令和8年10月をめにプロポーザル方式により事業者を選定し、利活用方法を決定する方針です。地域の意向を反映させて利活用目的や用途を検討し、これからの1年間で地域の意向を聞き取

ります。施設の形状や地域の特性、地域の意向を確認しながら、民間等の活力を活用することにより、最適な跡地利用を目指します。なお、体育館は閉校後も市が所有し、災害時の避難場所として、平時は地域住民やスポーツ団体へ貸し出す予定としています。

人口減少が顕著な地域では、地域の活力の維持や発展のために住宅団地整備が必要と考えています。今後とも地域特性に応じた活用を検討し、地域コミュニティの維持や活性化につながるような施設として次世代に引き継いでいきたいと考えます。

問 次は北条旧市街地のにぎわいづくりです。コープの撤退や病院の移転等により、町なか

答 北条旧市街地は、一定のにぎわいを見せていますが、地域全体を巻き込んだにぎわいづくりの広がりを期待しており、市として支援ができないか考えています。空き家バンク等での活用支援もありますが、町なかの空き家が空き家バンクに登録されない状況もあります。今後の方向性も含め、自治会とも協議して取組を進めます。

■その他の質問事項

- ・ 農業振興
- ・ 熱中症対策（労働安全衛生法改正で6月から義務化）
- ・ 道路の安全性について



佐伯 欣子 議員
(清流会・かさいを育む会)

図書館休館日の必要性を問う

～ 令和6年度定期監査に係る措置内容報告書から ～



問 指摘事項の内容は。

答 県下の図書館103館のうち8割の88館が週1日以上

問 指摘に対する措置内容は。

答 経費削減や職員の業務負担の軽減など、図書館の充実にとって大事な指摘と捉え、休館

日を設けることを考えています。

問 現在の職員数と勤務シフトについて。

答 正職員4名、会計年度任用職員17名の計21名のうち、7名が司書資格を持っています。職員全体の約半数が常駐する勤務シフトで、休日は正職員が週2日、会計年度任用職員は週2.5日です。

問 休館日を設けた場合の経費削減、業務負担の軽減は。

答 年間で光熱水費約100万円、人件費約290万円の削減を見込んでいます。また、定まった休みがあることにより精神面の負担を軽減できると考えます。

問 休館日を設けることのマイナス面はないのか。

答 学校やこども園との連携は最も重要な事業と位置づけ、

これまでどおり取り組みます。また、休館日明けの本の返却数の増加が見込まれますが、人員を多く配置するなど対応を検討します。

問 職員・教育委員・協議会委員からの意見について。

答 協議会委員からは「学校との連携は現在の取組に影響のないようにお願いしたい」等の意見があり、大半は休館日設定に肯定的でした。教育委員からは「来場者へアンケートを取ってはどうか」「市民への周知は一定期間必要」等の意見がありました。職員の反対意見はありません。

問 市民からの意見について。

答 休館日を設けることについて丁寧な説明が必要と考えます。また、利用者へのアンケート実施を準備しています。



森元 清蔵 議員
(清流会・かさいを育む会)

大型建設事業と 10 年間の財政見通しについて



問 大型事業予算は、今後 10 年間（令和 3 年～ 12 年度）の財政収支見通しの投資的経費にいかんに入されているのか。

答 庁舎附属棟建設は、総事業費 24 億円のうち一般財源は 5 億 2,000 万円です。令和 7 年度に 9,000 万円、8 年度に 4 億 3,000 万円を算入しています。

小中学校の再編整備は、総事業費約 100 億円のうち一般財源は 18 億 4,000 万円です。令和 6 年度に 5,000 万円、7 年度に 3 億円、8 年度に 6 億円（学校教育施設整

備基金繰入）、9 年度に 8 億 1,000 万円（学校教育施設整備基金繰入）、10 年度に 2,000 万円、11 年度に 6,000 万円を算入しています。

次に、総合運動公園は、総事業費約 94 億円のうち一般財源は 14 億 3,000 万円です。令和 8 年度に 1,000 万円、9 年度にも 1,000 万円、10 年度に 1 億 3,000 万円、11 年度に 1 億 8,000 万円、12 年度に 5 億 5,000 万円（文化スポーツ振興基金繰入）を算入しています。残りの 5 億 5,000 万円は、令和 13 年度になります。

ごみ焼却施設解体は、総事業費 6 億 8,000 万円のうち一般財源は 7,000 万円です。令和 8 年度に 5,000 万円、9 年度に 2,000 万円を算入しています。これらの建設事業に係る起債の償還費は、公債費に算入しています。

新病院整備は、建設事業費の起債償還費の 2 分の 1 を病院事業繰

出金 7 億 5,000 万円の中に盛り込んでいます。起債の本格的な償還は令和 13 年度以降になります。

新ごみ処理施設建設のための基金は収支見通しには入っていませんが、令和 5 年度より毎年 1 億円、10 年間で 10 億円を積み立て、令和 13 年度以降で費用が発生する際に充当します。

問 安定財政に向けての基本的な考えと数値目標は。

答 毎年度の収支が安定し、財政調整基金を取り崩さないことが 1 番の目標です。実質公債費比率は 18%未満にし、財政調整基金は 35 億円は確保していきたいと考えます。

意見 財政的に安定しているから施設を造るのではなく、市民合意を得て造っていくべきだ。



大前 裕也 議員
(改革未来・自民の風)
(加西市民の会)

脱炭素先行地域づくり事業について



問 脱炭素先行地域づくりについて伺う。地域エネルギー会社による事業の進捗と、3 月議会において、加西市における地球温暖化対策の積極的な取組について、質問をした。その取組の主要事業である地域エネルギー会社、加西スマートエナジーによる脱炭素先行地域づくりの現在の進捗状況について伺います。

答 加西市では市内の脱炭素化を目的に、脱炭素先行地域

づくり事業への取組を行政と連携して事業を実施する地域エネルギー会社として、加西スマートエナジーを昨年 12 月に設立しました。現在、加西スマートエナジーは加西市の遊休地である衛生センターグラウンドに 750 キロワットの太陽光パネルを設置する工事に着手しており、今年度秋にはその電力を市公共施設に供給する予定です。また、今年度は九会地区と市役所周辺地区の 2 か所でマイクログリッドを整備する設計を実施しています。マイクログリッドの設計内容については、太陽光パネル・蓄電池の容量、現場調査、電力利用のデータ分析を行っているところです。

なお、今年度の事業として、市内 2 か所のため池に太陽光パネルを設置する計画で、現在、ため池

の測量、自然環境調査、関西送配電との接続協議を実施しており、工事完了は今年度末を予定しています。加西市では、エネルギーの地産地消が実現された「脱炭素のまち加西」を掲げ、2030 年度の市内の温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 53%削減することを目指しています。

この脱炭素先行地域づくりの事業を契機に、加西市は加西スマートエナジーと連携して、CO2 排出量削減目標達成と、脱炭素社会の実現に向けた取組を推進していきます。

要望 これからますます加西スマートエナジーの脱炭素先行地域づくりが進んでいくと思いますので、引き続き取組をお願いしたい。



丸岡 弘満 議員
(改革未来・自民の風)
・加西市民の会



市政を動かす声、物価高騰対策を提言

問 物価高騰で、あらゆるものの値段が上がり、賃金や給料も増えない中、税は変わらず取られている現状に、多くの市民が困り苦しんでいる。市民の暮らしを守る我々の会派から、市民の皆さんの声を代弁し、水道料金の減免など物価高騰対策を4月に市長へ提言・要望した。困っている市民生活に対して、どのような市独自対策を取ろうとしているのか。

答 物価高騰対策として、上水道の基本料金を6か月間減免するための補正予算案を6月議会に上程しているところです。そ

の他の支援については、今後の物価の状況や国の動向を注視しながら検討していきます。

問 ねっぴ〜 Pay によるポイント還元は、物価高騰対策として非常に有効で、経済効果としても1番よいのではないかと。市内商店の消費拡大に寄与するキャッシュレス決済での対策をお願いしたいが、ねっぴ〜 Pay の現状は。

答 ユーザー数は約1万6,800人となり、毎年2,000人ずつ増えています。また、取扱店も290店舗まで増えています。消費額も少しずつ増え、令和6年度は5億1,000万円です。効果額は令和4年度2億7,000万円、5年度2億円、6年度2億8,000万円となり、利用促進効果が大きくなってきています。

問 一般照明用の蛍光灯の製造、輸出入を2027年までに段

階的に廃止することが決定した。製品の継続使用や廃止日までに製造された製品の売買・使用が禁止されるものではないが、自治会集会所など、いまだLED化されていない施設に対する市の対応は。

答 自治会公民館の改修については、集会所設置事業補助金がありますが、大規模改修を想定したものとなっています。今後、照明のLED化改修補助に向け、前向きに進めたいと考えます。

■その他の質問事項

- ・加西の教育3本の矢について
 - 学校給食
 - 体育館の空調設備
 - 部活動の地域移行
 - 部活動中の事故
 - 教育委員会制度
- ・加西市農業の未来について
 - 令和の米騒動



高橋 佐代子 議員
(改革未来・自民の風)
・加西市民の会



加西市グローバルセンターの運営について

問 市内の外国人の数は、令和元年度末に1,340人、6年度末が1,675人で335人増となり、人口に対する外国人の割合は4.06%になる。グローバルセンターの運営については、外国人を雇用している市内企業にも協賛金などを求めて連携することにより、ネットワークの構築ができるのではないかと。

答 外国人を雇用している市内の約140社については、国際交流協会の会員になっていただき、相互扶助による多文化共生の推進に協力していただくことを期

待しています。行政が負担するだけではなく、企業と連携して運営に努めます。

問 センターの職員を新規雇用されると聞きますが、どのような方なのか。

答 人物の能力や経験等を基に選考されると聞いています。特にセンター長は企業連携、つなぎ役としての経験がある人材が採用されると考えています。

問 国際交流協会（職員5名）への指定管理料は、令和7年10月1日からの4年半で7,200万円、7年度は半年間で800万円、年間1,600万円と高額で驚いている。センター長の給与は幾らか。

答 指定管理料はほぼ人件費ですが、センター長1人に500万円、一般職員は200万円から300万円を見込んでいます。

問 センター長と事務局長を正職員とすれば、あと3人はアルバイトや会計年度任用職員となるのか。

答 現在は正規雇用の職員が勤めており、継続して雇用されます。増員される職員のうち、センター長は正規雇用、一般職は短時間勤務もしくは臨時雇用も含めて考えているところです。

要望 センター業務は毎日忙しいわけではなく、空き時間もあると思います。市民の目もあります。市役所並みの給与を支払うと言われますが、ずっと続けていく事業ですので、市としても任せきりにせず、様子を見ながら、常に目を光らせていただくようお願いしたい。

議会報告「市民との意見交換会」

令和7年4月21日(月)南部公民館、4月22日(火)北部公民館、4月23日(水)善防公民館、4月24日(木)健康福祉会館の4会場において、総数59名の市民の皆様にご参加いただき、議会報告「市民との意見交換会」を開催しました。

第1部では令和7年3月定例会の審議内容の報告と質問、第2部では15名の議員と参加者が班ごとにグループワーク形式で(1)加西病院の建て替えについて、(2)フリーテーマについて意見交換を行いました。参加者の皆様からいただいた主な意見や思いをご紹介します。

(1) 加西病院の建て替えについて

- 広域での役割分担をした上で加西病院の在り方を考えていただきたい。
- 認知症専門外来など特色があって、患者さんに選ばれる病院にしてほしい。
- 近隣病院や個人診療所との連携をもっと強めてほしい。
- 加西市ゆかりの医師も多いと思うので、医師や医療人材の確保に努めてほしい。
- 病院経営に手腕のある人がいないのではないか、経営安定に努力してほしい。
- メディカルタウン構想は今後どうなっていくのか。
- 救急部門や小児科・産婦人科など診療科を充実してもらいたい。
- 新病院へのアクセスや交通の安全性を確保してほしい。
- 建設計画の市民周知など透明性を確保しながら、しっかりと進めてほしい。
- 現地建て替えはダメとなったが、新病院予定地選定の経緯と理由などの説明をもっとしてほしい。
- 予防医療にもっと力を注いでいただきたい。

(2) フリーテーマ

- 5つの無料化などの人口増施策は本当に効果が出ているのか。
- 学校統合後の跡地をいかに活用するか、地域の活性化にとって重要な要素である。
- 加西市の魅力発信がまだまだ弱い。しっかりとPRしてほしい。
- 人口減少が分かっているのに庁舎増築は本当に必要なのか。
- 公共施設の整備・既存資源の活用 to 適切な行政判断を求めたい。
- 人口減少対策や女性の地域参画や活動支援の充実を図ってほしい。
- 持続可能な農業支援と人材育成を進めてほしい。
- sora かさいに道の駅をつくってもらいたい。
- 議員に女性や若い人がなれる環境をつくってほしい。
- 新中学校統合場所として現在の加西中学校を有効に使えるのでは。
- 気球については自慢できるので、白鳥等に配慮しながら継続してほしい。
- 高齢者がより住みやすく、若者にとっても魅力あるまちづくりをお願いする。

このほかにも、多くのご意見をいただきました。加西市議会として、今後も市民との意見交換会などを実施し、顔の見える議員として広く市民の声を聴く開かれた議会、市民と共に市政について議論し意識を高め合う議会を目指していきたくと考えています。



南部公民館



健康福祉会館

※ 議会報告「市民との意見交換会」の詳細については、下記QRコードからアクセスしてホームページをご覧ください。



閉会中の議会活動報告

丹波市議会を視察（議会運営委員会）

～さらなる開かれた市議会を目指して～

議会運営委員会は、多様化する市民の声を把握し、市政に反映させるという市議会が担うべき重要な役割が、十分に発揮できていないという反省のもと、さらなる開かれた市議会を実現するため、議会広報広聴活動の先進地として評価が高い丹波市議会の取組について視察を行いました。



日 時	令和7年5月22日（木） 13時30分～15時30分
視 察 先	丹波市議会
視察項目	議会の広報広聴活動について
内 容	① 広報広聴委員会設置の効果について 活動の幅が広がり、効果的な広報広聴活動が可能となった。 ② 市民との意見交換会について 市民の意見については、議会運営委員会で所管の委員会に割り振り、「所管事務調査するもの」「行政に伝達するもの」「議員間で共有するもの」に仕分けをされ、取扱い結果をホームページで公開されている。 ③ ミライプロジェクトについて 将来のまちづくりを考える上で、若者の声を聴き、主権者意識の醸成、市政への関心の高揚に努めておられる。

議員研修会（ハラスメント防止研修）

令和7年5月26日（月）に「ハラスメント防止研修～議員と職員の良い関係づくりのために～」をテーマに、FPM-α吉海江久実代講師による議員研修会を実施しました。

パワハラをする人の共通思考として「自分は悪くない」「自覚があっても非を認めない」ということ、また、パワハラの法制化、種類や要件について教えていただきました。様々な事例をグループワーク形式で確認しながら、無自覚パワハラやパワハラに対する基本的な心構えも学びました。「自分の常識と相手の常識は異なること」「パワハラはしてはいけないこと」と自覚し、自らを抑制することの大切さについても学び、議員全員がパワハラに対する認識を新たにしました。

また、セクハラに関しても、発言や行動の注意点を学びました。



加西市議会基本条例の研修

令和7年7月1日（火）に加西市議会基本条例の研修を実施しました。

加西市議会基本条例第2条第2項に「議員にこの条例の理念を浸透させるため、一般選挙を経た任期開始後及び2年経過後に研修を行う」と規定しています。一般選挙後2年を経過したため、改めて条例を読み上げながら、理念や内容を再確認しました。

今年度は議会基本条例を検証することとなっているため、今後、議会運営委員会において議論していきます。



市議会トピックス

● 閉会中の委員会開催日程

月 日	時 間	会 議
8月12日(火)	9:00	建設経済厚生常任委員会

● 令和7年9月 加西市議会定例会の予定

月 日	時 間	会 議
9月1日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(提案説明等)
9月3日(水)	15:00	発言通告期限(質疑・一般質問)
9月9日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(質疑・一般質問)
9月10日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(一般質問)
9月11日(木)	10:00	本会議(予備日)
9月12日(金)	9:00	総務常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会総務分科会
9月16日(火)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
9月18日(木)	9:00	予算決算常任委員会総務分科会(予備日)
9月19日(金)	9:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
9月25日(木)	9:00	予算決算常任委員会(全体会)
9月29日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(委員長報告・討論・採決)

編集後記

6月定例会において市議会の新体制が決まり、議会だより編集委員会も新しい顔ぶれがそろいました。市民に開かれた議会として、議会活動をどう伝え市民の皆様の期待に応えていくのか。紙面を通して市民の皆様と議会をつなぐよう頑張ってまいります。

表紙写真募集中!

市内で撮影した行事・風景・まちなみなどの写真を募集しています。お気に入りの一枚で表紙を飾ってみませんか?

令和7年10月7日(火) 締切
令和7年11月1日発行号 掲載

応募方法
など詳細
はこちら



請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

9月定例会での取扱いを希望される場合は、令和7年8月22日(金)17時までにご提出ください。

※ 会議の日程などは変更される場合があります。詳しくは、ホームページをご覧ください。か、議会事務局(☎42-8790)へお問い合わせください。

議会だより編集委員会



加西市議会ホームページ

議会の日程や議案の審議結果、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録を掲載



加西市議会公式 X

市議会の活動や情報を発信
アカウント名: 加西市議会
URL: https://x.com/kasai_gikai

発行編集 加西市議会
議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾 1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 深田 照 明
委員 佐伯 欣 子
委員 西 脇 親

副委員長 北川 克 則
委員 田井 真 一
委員 橋本 真由美